

科目名	実学入門I 【オンデマンド】(A組)				
担当教員名	柏木 将宏、赤木 茅、大矢野 潤、鎌田 光宣、小林 直人、長尾 雄行、仲野 友樹				
学部等	全学共通科目		開講学期	2025年度春学期	
ナンバリング		学年	1年	単位	2単位
副題	アカデミック・リテラシーB				
科目情報補足					
事前に履修すること が望ましい科目					

この科目を通じて身につける能力要素

全学共通の能力要素	<2025年度以降入学者>批判的思考【○】、読解・表現力【○】、生涯学習の基盤となる知識・技能【○】、探求・分析【○】
学部固有の能力要素	
能力要素と授業内容の関係	本科目における論証に関する内容により批判的思考を、情報整理と思考方法及びデータリテラシーによって探求・分析の能力を、レポート執筆を通じて読解・表現力を、それぞれ身に付けることができる。また、オンデマンド学習を通じた独習の経験によって、生涯学習の基盤となる知識・技能を身に付けることができる。
能力要素の詳細	https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/educational_policy/ability/index.html (2024年度以前入学者のCUC6つの能力要素は、「全学共通の能力要素」に記載します)

科目概要

本科目では、高い倫理観を備えた「治道家」を目指すという建学の精神を踏まえながら学修・研究を進め、その成果をレポート作成、プレゼンテーションなどの形で表現するために必要な考え方や技能、すなわち「アカデミックリテラシー」の基礎を学ぶ。研究活動の入門として、文献やデータの入手のためにインターネットや図書館資料などの活用を学び、入手した文献やデータを解釈するための思考の型の基礎を学ぶことを目的とする。その上で、アカデミックな文書の構造と作法を学び、情報技術やデータ活用も踏まえ、研究の目的に基づいたレポート執筆のための基礎を学ぶことを目的とする。また、そのために必要なPCの基本的な操作技術についても扱う。これらをオンデマンド形式の学習教材を活用し、独学でPCの利用スキルや実践的な問題解決能力を養いながら自己学習力を向上させ、今後の学修や研究活動さらには社会で活躍するために必要な能力を身につける。本科目は、面接形式の「情報入門（アカデミックリテラシーA）と共に学修し、理論と実践を組み合わせた授業により目標の到達を目指す。

科目の到達目標

- ・大学生活や研究活動に必要な知識と技術を身につける
- ・独学により実践的な問題解決能力を養いながら、自己学習の力の向上をはかる
- ・PCの基本的な操作技術を身につける
- ・アプリケーションソフトウェアの基本的な操作技術を身につける
- ・レポート執筆に必要な知識や技術を身につける
- ・情報要約について学び報告型レポート執筆の基本を身につける
- ・論証の方法について学び論証型レポート執筆の基本を身につける
- ・データの分析に必要な基礎的な知識や技能を身につける
- ・生成AIを活用した情報整理方法や文章推敲方法について学ぶ
- ・情報倫理、情報セキュリティについて学ぶ

授業の特徴（指定科目のみ掲載）

オンデマンド形式の遠隔授業であり、用意された学習教材を活用してPCの利用スキルや実践的な問題解決能力を養い、自己学習力を向上させる。この取り組みを通じて、自らの学びを深め、今後の学修や研究活動、さらには社会で活躍するために必要な能力を身につける。本科目に関することは「情報入門（アカデミックリテラシーA）」の担当教員が対応する。

本科目は、「千葉商科大学・数理データサイエンス教育プログラム（※）」のプログラム構成科目である。※文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」認定済み

履修上の注意

実務経験を活かす授業		実務経験内容等	
PC必携	○	使用するソフトウェア等	microsoft teams, word, powerpoint等

データを活用する授業

データ分析を行う	○	外部機関（企業等）のデータ活用する	○	その他	
----------	---	-------------------	---	-----	--

アクティブラーニングの要素

グループワーク		プレゼンテーション		実習、実技、フィールドワーク	
PBL（課題解決型学習）		双方向型学修（クリッカー等）		ディスカッション・ディベート	

反転授業	その他		
授業計画			
授業回	各回の概要	各回の事前事後学修	事前事後学修時間
第1回	ガイダンス 大学での学びとアカデミックリテラシー	(事前) 教科書第1章を読んでおく (事後) 演習課題に取り組む	3.5時間
第2回	ファイル管理とOneDriveの演習	(事前) 教科書第3章を読んでおく (事後) 演習課題に取り組む	3.5時間
第3回	WordとPowerPoint	(事前) 教科書第4章を読んでおく (事後) 演習課題に取り組む	3.5時間
第4回	研究的活動と論証 ・理由と根拠、批判的思考 ・考察の意味	(事前) 教科書第6章を読んでおく (事後) 演習課題に取り組む	3.5時間
第5回	出典の書き方、思考法と情報整理 ・文献調査方法と出典の書き方 ・一次資料と二次資料 ・抽象的概念、演繹と機能 ・情報整理の方法	(事前) 教科書第7,8章を読んでおく (事後) 演習課題に取り組む	3.5時間
第6回	レポート執筆 ・文体と段落構成 ・情報を的確かつ正確に伝える技術や考え方 ・生成AIによる執筆サポート（利活用方法と留意事項）	(事前) 教科書第9,10章を読んでおく (事後) 演習課題に取り組む	3.5時間
第7回	データリテラシー ・データ活用事例	(事前) 教科書第11章を読んでおく (事後) データリテラシーについて理解を深める	3.5時間
第8回	Excelの操作確認と論理的思考(1) ・Excel関数の確認（簡易教材作成） ・論理的思考に関する課題 ・批判的思考に関する課題 ・批判的読解に関する課題	(事前) 教科書第12章-第14章をひと通り確認する (事後) 演習課題に取り組む	3.5時間
第9回	Excelの操作確認と論理的思考(2) ・Excelによるグラフ作成の確認（簡易教材作成） ・調査データや実験データに関する課題 ・データ倫理（データの捏造など）に関する課題	(事前) 教科書第12章-第14章をひと通り確認する (事後) 演習課題に取り組む	3.5時間
第10回	Excelの操作確認と論理的思考(3) ・Excelによる簡易データ集計の確認（簡易教材作成） ・Excelによる簡易データ分析の確認（簡易教材作成） ・データの誤解釈に関する課題 ・相関と因果に関する課題	(事前) 教科書第12章-第14章をひと通り確認する (事後) 演習課題に取り組む	3.5時間
第11回	データサイエンスへのいざない ・データの解釈 ・データ分析の手法 ・データ・AI活用領域の広がり ・数理データサイエンス・AI活用について	(事前) 教科書第16章を読んでおく (事後) データサイエンスについて理解を深める	3.5時間

第12回	実践的なPC利活用の演習 AIの最新技術の動向や活用例	(事前) 「情報入門」の講義内容を確認する (事後) 演習課題に取り組む	3.5時間
第13回	まとめと振り返り	(事前) ここまで身につけた知識や技能を確認する (事後) 振り返り	3.5時間
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 学習進捗度（教材動画視聴、出席課題） 45% 演習課題提出 35% 任意提出課題 20% ※「情報入門（アカデミックリテラシーA）」と合わせて総合的に評価する。		
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	必要に応じて個別に添削指導等を行い返却あるいは再提出を求める。講義資料の配付や課題提出等の学修はCUC PORTALを利用する。		
テキスト・教科書	「千葉商科大学アカデミックリテラシー2025」		
参考文献	必要に応じて授業資料で指示する。		